

(4) 尾張西部構想区域 (一宮市、稲沢市)

(人口の見通し)

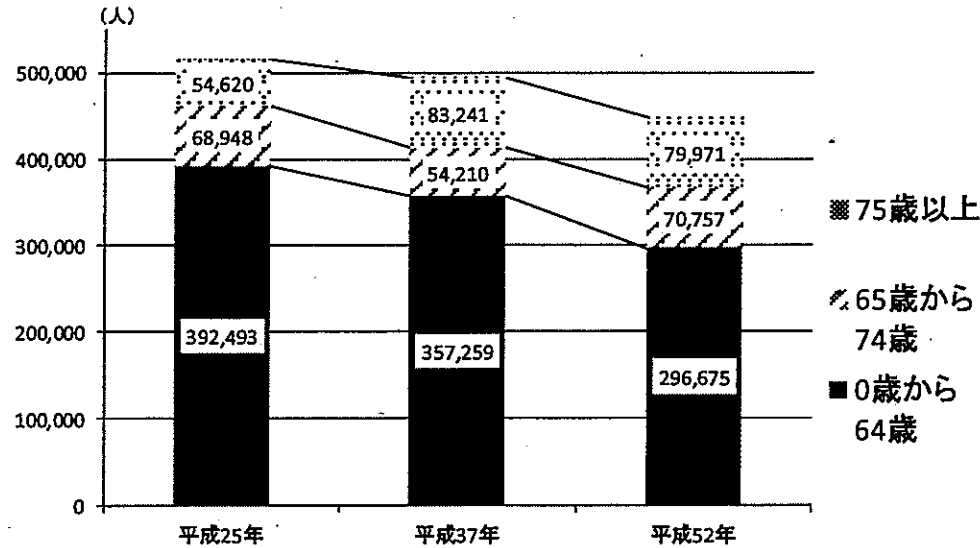
- 平成52年(2040年)に向け総人口は減少していきませんが、減少率は県全体より高くなっています。65歳以上人口は増加していきませんが、増加率は県全体より低くなっています。

<人口の推移>

※ ( ) は平成25年を1とした場合の各年の指数

区分	総人口			65歳以上人口			75歳以上人口		
	平成25年	平成37年	平成52年	平成25年	平成37年	平成52年	平成25年	平成37年	平成52年
県	7,434,996 (1.00)	7,348,135 (0.99)	6,855,632 (0.92)	1,647,063 (1.00)	1,943,329 (1.18)	2,219,223 (1.35)	741,801 (1.00)	1,165,990 (1.57)	1,203,230 (1.62)
尾張西部	516,061 (1.00)	494,710 (0.96)	447,403 (0.87)	123,568 (1.00)	137,451 (1.11)	150,728 (1.22)	54,620 (1.00)	83,241 (1.52)	79,971 (1.46)

<尾張西部構想区域>



(医療資源等の状況)

- 人口10万対の病床数は、県平均の91.4%ですが、療養病床数は県平均の61.3%と少なくなっています。人口10万対の医療従事者数については、医師数、歯科医師数が8割程度とやや少なくなっています。
- DPC調査結果(DPC調査参加施設:6病院)によると、構想区域内において、ほぼ全ての主要診断群の入院及び救急搬送実績があり、緊急性の高い傷病(急性心筋梗塞・脳卒中・重篤な外的障害)及び高齢者の発生頻度が高い疾患(成人肺炎・大腿骨骨折)の入院実績があることから、区域内に急性期入院機能を有していると考えられます。
- 消防庁データに基づく救急搬送所要時間については県平均とほぼ同様であり、DPC調査データに基づく緊急性の高い傷病(急性心筋梗塞・再発性心筋梗塞、くも膜下出血・破裂

脳動脈瘤、頭蓋・頭蓋内損傷)の入院治療を行っている施設までの移動時間は、30分以内で大半の人口がカバーされていることから、医療機関への交通アクセスや医療機関の受け入れ体制等に大きな問題が生じていないと考えられます。

- 高度な集中治療が行われる特定入院料の病床については、平成28年3月現在、構想区域内(3病院)において、救命救急入院料・特定集中治療室管理料(ICU)・新生児特定集中治療室管理料(NICU)・新生児治療回復室入院医療管理料(GCU)の届出がされています。
- 平成25年度(2013年度)NDBデータに基づく特定入院料の自域依存率は高い状況にあります。

<医療資源等の状況>

区分	愛知県①	尾張西部②	②/①
病院数	325	19	—
人口10万対	4.4	3.7	84.1%
診療所数	5,259	328	—
有床診療所	408	26	—
人口10万対	5.5	5.0	90.9%
歯科診療所数	3,707	226	—
人口10万対	49.9	43.8	87.8%
病院病床数	67,579	4,286	—
人口10万対	908.9	830.5	91.4%
一般病床数	40,437	2,714	—
人口10万対	543.9	525.9	96.7%
療養病床数	13,806	588	—
人口10万対	185.7	113.9	61.3%
精神病床数	13,010	960	—
人口10万対	175.0	186.0	106.3%
有床診療所病床数	4,801	303	—
人口10万対	64.6	58.7	90.9%

区分	愛知県①	尾張西部②	②/①
医療施設従事医師数	14,712	854	—
人口10万対	197.9	165.5	83.6%
病床100床対	20.3	18.6	91.6%
医療施設従事歯科医師数	5,410	318	—
人口10万対	72.8	61.6	84.6%
薬局・医療施設従事薬剤師数	10,525	655	—
人口10万対	141.6	126.9	89.6%
病院従事看護師数	36,145	2,413	—
人口10万対	486.1	467.6	96.2%
病床100床対	49.9	52.6	105.4%
特定機能病院	4	0	—
救命救急センター数	22	2	—
面積(km <sup>2</sup> )	5,169.83	193.17	—

(入院患者の受療動向)

- 入院患者の自域依存率は、慢性期がやや低いものの、他の機能区分は80%前後で高い水準にあります。

<平成 25 年度の尾張西部医療圏から他医療圏への流出入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

患者住所地	医療機関所在地													合計	
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外		
尾張西部医療圏	高度急性期	33	*	*	*	235	14	*	*	*	*	*	*	15	297
		11.1%	—	—	—	79.1%	4.7%	—	—	—	—	—	—	5.1%	100.0%
	急性期	65	11	*	*	755	31	*	*	*	*	*	*	35	897
		7.2%	1.2%	—	—	84.2%	3.5%	—	—	—	—	—	—	3.9%	100.0%
	回復期	54	13	26	*	875	33	*	*	*	*	0	*	27	1,028
		5.3%	1.3%	2.5%	—	85.1%	3.2%	—	—	—	—	—	—	2.6%	100.0%
慢性期	23	23	30	*	321	35	*	*	*	0	0	*	11	443	
	5.2%	5.2%	6.8%	—	72.5%	7.9%	—	—	—	—	—	—	2.5%	100.0%	

<平成 25 年度の他医療圏から尾張西部医療圏への流入入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

医療機関所在地	患者住所地													合計	
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外		
尾張西部医療圏	高度急性期	*	*	*	*	235	*	*	*	*	*	0	*	*	235
		—	—	—	—	100.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0%
	急性期	10	21	16	*	755	34	*	*	*	*	*	*	11	847
		1.2%	2.5%	1.9%	—	89.1%	4.0%	—	—	—	—	—	—	1.3%	100.0%
	回復期	13	30	19	*	875	44	*	*	*	*	*	*	21	1,002
		1.3%	3.0%	1.9%	—	87.3%	4.4%	—	—	—	—	—	—	2.1%	100.0%
慢性期	12	40	*	0	321	49	0	0	0	0	0	*	*	422	
	2.8%	9.5%	—	—	76.1%	11.6%	—	—	—	—	—	—	—	100.0%	

(課題)

- 県内病院における医師不足の影響に関する調査結果（平成 27 年 6 月末時点）によると、診療制限をしている病院数は 8 病院あり、区域内病院数（19 病院）に対する割合が 42.1%と高くなっていますが、関係機関の協力連携等により、地域全体でカバーされており、今後も見守っていく必要があります。
- 回復期機能の病床を確保する必要があります。